

## 武漢事務所便り週間新聞記事報告2010.8.21 - 2010.8.2720号

2010年8月24日付け「長江ネット」により

### 武漢 台湾の直航便を毎週1便新規増加

昨日、武漢入国審査部門によると、8月28日から、武漢天河国際空港の武漢から台湾への直航便を毎週1便新規増加する予定である。その結果、以前週7便だった武漢 台湾の直航便は、週8便となり、月曜日と土曜日は一日2便で、日曜日を除いて、毎日1便が運航することとなる。

当直航便は台湾華信航空会社により運航され、マクドネル・ダグラス社のERJ-190型飛行機を採用、毎週土曜日14時に台中清泉崗空港を出発し、16時45分までに武漢へ到着する。その後、17時50分に武漢から台湾に帰航する。この台湾華信航空会社は武漢で台湾直航便を運営する3つ目の台湾の航空会社である。

武漢 台湾の直航便が就航して以来、当航路の搭乗率は常に80%以上を保っている。今年、航空会社が大幅に増加したが、当航路は依然として85%以上の搭乗率を維持している。武漢 台湾の直航便は十分な搭乗率を見込めるので、今年の出入の旅客者数は30万人を突破する見込みである。

2010年8月27日付け「大楚ネット」により

### 鸚鵡洲長江大橋が着工

今日、武漢長江の第八番目の橋である鸚鵡洲長江大橋が着工した。当工事の総投資額は40億元で、2015年までに開通する見込みである。

鸚鵡洲長江大橋は全長約7.8キロメートル、水面上の距離は2100メートルで、南北岸にはそれぞれ上りと下りの高架道路及び都市高速道路を含んでいる。大橋は漢陽区江城大道の墨水湖北路から始まり、東側は動物園、馬鸚路から江堤路、鸚鵡大道を通過して、長江を跨ぎ、武昌へ至り、それから雄楚大街につながる高架道路である。

鸚鵡洲大橋から長江大橋までの距離は約2.3キロで、楊泗港の長江トンネル(第二環状線の長江トンネル)までの距離は2.4キロで、計画している新内環状線の重要な部分であり、竣工後、内環状線は漢陽中心部の地域を含むようになり、武昌から漢陽地域への交通渋滞されと同時に、それによって、長江大橋は交通量の多さから解放される。